



Owner's Manual

取扱説明書

トーナメントウルトラローラー

モデル 7540/7550

シリアル番号 T1312 より

目次

イントロダクション

仕様

シンボル

スピードボス

安全指針

コントロール

オペレーション

日常点検リスト

メンテナンス

サービスチャート

保管

スミスコ社ウルトラ4トーナメントローラー

本機はグリーン表層のパッティングクオリティー増進、テニスコートの芝目補正のために開発されました。

また、直径9インチ(22.86cm)のローラーを2本装備し、双方に駆動力、ステアリング能力を保持しています。

製造にあたっては、良質で重量のある素材を使用し、耐久性を高めると共に作業中滑らないように配慮されています。ステアリングの操作性はオペレーターの長時間にわたる作業を快適で、疲労を持たないように配慮されています。本機に採用されている特別な機構、ローラーのステアリング性能により、アンジュレーションに追従し、グリーン表層のコンパクションを均一に仕上ることが可能です。

本機を整備する時は、予め必ず燃料、作動油の量、品質を確認してください。エンジン、トランスミッションに使用するオイル、燃料等は本書後段を参照してください。

グリーンで本機を活用する前に、予めオペレーターは操作方法来慣れてください。乱暴なステアリング操作はグリーンにダメージを与えます。決してグリーン半ばでローラー走行をとめないで下さい。1箇所にと停車することにより、グリーン全体を均一にならすことが不可能になります。グリーンを出てからステアリングを切り、決して途中でできないで下さい。また、停車した状態でステアリングをきろうとしないで下さい。

本グリーンを作業する前に必ずグリーンキーパー様に作業方法を確認してください。アンジュレーションがあるときは、垂直にそれにあたるようにし、決して横切ろうとしないで下さい。

給油・潤滑ポイントには定期的にグリス補充して下さい。油圧ポンプには10W40規格のオイルを使用して下さい。

冒頭に記載したとおり、本機はゴルフ場のグリーン、テニスコートでの作業を目的として開発されています。本機寿命は適切なメンテナンスと定期的な整備にかかっています。

本機には、モデル番号、シリアル番号を記載したプレートがとめられています。
適当な部品等を取寄せる際に必要になります。必ず別途転記し大切に保管してください。

SMITHCO		DATE OF MFG.
WAYNE, PENNSYLVANIA 19087 USA		<input type="text"/>
610-688-4009 FAX 610-688-6069		
SERIAL NO.	kw/hp	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	
MODEL NO.	kg/lb	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	

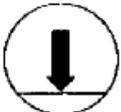
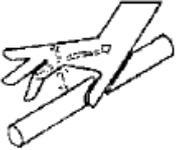
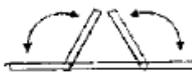
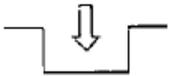
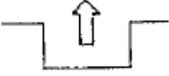
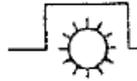
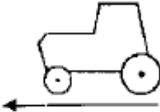
部品ご注文の際に必要な情報；

- 1 モデル番号
- 2 シリアル番号
- 3 部品の名称、部品番号
- 4 必要部品の数量

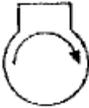
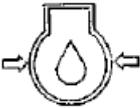
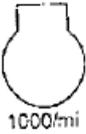
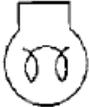
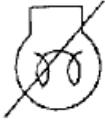
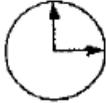
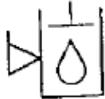
トーナメントローラーウルトラ 4 の仕様

モデル番号	7540 及び 7550
重量とサイズ	L52 インチ (132cm) XW49 インチ (124cm) XH47 インチ (119cm)
地上クリアランス	7 インチ 17.78cm
重量	900 ポンド (408kg)
踏圧	4.5PSI、ローラーに水を注入した場合 1.4PSI 増加
ブレーキ	油圧ブレーキ
シート	ハイバックシート
フレーム	溶接組上げ、パウダーコーティング塗装
エンジン	バンガード 16 馬力ガソリンエンジン OHV
電気システム	12 ボルト電気スタート
油圧ポンプ	油圧ギアシステム
ウィールモーター	パーカー社製 TB130X2
駆動	油圧無段階変速 径 8.75 インチ (22cm) ローラー走行
ステアリング	10.2 減速、16 インチソフトグリップステアリング、チルト機能付き 旋回半径 10 フィート (3.3m)
エアクリーナー	標準装備
燃料タンク	5 ガロン (18 リットル)
ローラー	8.75 インチ径 36 インチ (全長)
コントロール	フットペダルコントロール
速度制御	特許スピードボスシステム採用
トレーラー	標準装備

シンボル

	Up/Down Arrow		Down/Lower		Up/Raise
	No Smoking		Moving Parts		Manual Operation
	Pinch Point		Step		Hot Surface
	Hydraulic Fluid Penetration		Lift Arm		Tractor
	Engage		Disengage		PTO
	Ground Speed		Fast		Slow
H	High	L	Low	F	Forward
R	Reverse	N	Neutral		Warning Danger Caution

左上より 上下矢印、下げ、上げ、禁煙、稼動部注意、マニュアル参照、はさみこみ注意、踏み込む、高温注意、油圧オイル注意、アーム引上げ、トラクター、稼動、非稼動、PTO、走行速度、高速、低速、ハイ、ロー、前進、後進、ニュートラル、警告・危険・注意

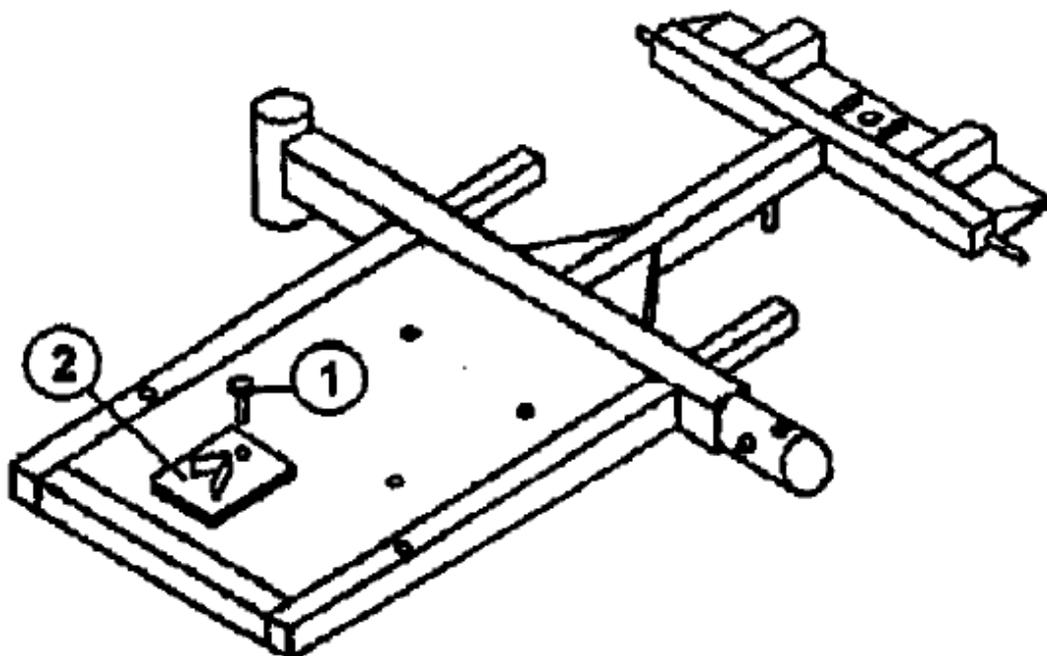
	Read Operator's Manual		Electrical Power		No Electrical Power
	Engine - Stop		Engine - Start		Engine - Run
	Engine Oil		Temperature Light		Water Temperature
	RPM 1000/mi		Gasoline		Diesel
	Glow Plug - On		Glow Plug - Off		Glow Plug
	Hour Meter		Hour Meter		Fuse
	Hand Throttle -		Choke - Closed		Choke - Open
	Park Brake		Park Brake Release		Hydraulic Oil Level

左上より

オペレーターマニュアル参照、電力 ON、電力 OFF、エンジンストップ、エンジンスタート、エンジンラン、エンジンオイル、温度計、水温計、RPM、ガソリン、ディーゼル、グロープラグ ON、グロープラグ OFF、グロープラグ、アワメーター、アワメーター、ヒューズ、ハンドスロットル、チョーク閉、チョーク開、パーキングブレーキ ON、パーキングブレーキ OFF、油圧オイル量

スピードボスブラケットの調整

1. 番号 1 番 1/4 インチボルトを緩めてください。
2. 番号 2 のブラケットを内側または外側にずらし速度を調整してください。注意: エンジンに向かってブラケットを動かすと速度は上がり、離すと速度は下がります。
3. 調整後 1 番 1/4 インチのボルトを締め込んでください。



安全の指針

1. 本マニュアルおよび本機(エンジン, アクセサリ, アタッチメントを含む)に関連の文書を読むことは使用者の責任です.
2. 適切な訓練と指導を受けずに, 絶対に本機の運転, サービスを行わないでください.
3. 本機の正しい使用方法, 制御装置, 計器の位置と目的を理解してから, 本機を運転してください. 熟知していない機械の運転は事故原因となります.
4. 頭部, 目, 耳, 手足の保護具を使用してください. 本機は昼光または十分な人工照明でのみ運転してください.
5. 本機を使用する作業地をまず検査し, 異物をすべて除去してから運転を開始してください. 頭上および埋設の障害物に注意してください. 常に隠れた危険に注意してください.
6. 完全な状態ではない機械, またはデカル, ガード, シールドその他保護装置が所定位置にない機械は絶対に運転しないでください.
7. 絶対にどのスイッチもはずしたり, バイパスしないでください.
8. 排気ガスの一酸化炭素は吸い込むと致死の危険があります. 絶対に換気の不十分な場所で本機を運転しないでください.
9. 燃料は高度の可燃性です. 取扱に十分注意してください.
10. エンジンを常に清浄に維持してください. 必ず冷却してから格納し, 必ずイグニッション・キーを抜いてください.
11. エンジン始動後, 本機が動き出さないことを確認してください. 動きだす場合, ニュートラル装置が調整不良です. エンジンを停止し, 再調整し, ニュートラル位置で機械が動き出さないことを確認してください.
12. 絶対に手でオイル漏れの点検をしないでください. 加圧下の油圧オイルは皮膚を貫通し重傷を負う危険があります.
13. 本機の運転には十分な注意が必要です. 暴走, 転倒防止のため, 特に以下の注意を守ってください:
 - a. 後退には十分注意してください. 後方の安全を確認してください.
 - b. 斜面で急停止, 急発進をしないでください.
 - c. 斜面や急カーブでは減速してください. 斜面での方向転換は行わないでください.
 - d. 地面の穴その他隠れた危険に常に注意してください.
14. 理由に関係なく, 運転位置から離れるときは, 必ず以下の手順を実施してください:
 - a. 駆動装置への接続を切ります.
 - b. アタッチメントを地面に下ろします.
 - c. パーク・ブレーキをセットします.
 - d. エンジンを停止し, イグニッション・キーを抜きます.

15. 可動部に手足，着衣を近づけないでください。各部の動きが完全に止まってから，機械の清掃，調整，サービスを開始してください。
16. 作業地から傍観者を出してください。
17. 絶対に本機に同乗させないでください。
18. 必ずエンジンを停止してから修理/調整またはクランクケースの点検/オイル補給を行ってください。
19. 純正の部品，材料だけを使ってください。機能または部品の勝手な変更，改造をしないでください。

本機はゴルフ場，競技場，その他の芝地，芝地関連の通路等の管理専用です。特定作業への適格性は明示，黙示を問わず保証しません。

コントロール

イグニッションスイッチ

シートハウジングの左に位置しています。3段階スイッチで、停止-ラン-スタートの切替です。

A. チョーク

チョークはシートハウジングの左に位置し、寒冷環境下でエンジンを始動する際にノブを引いてチョークプレートを開けてください。

B. ハンドスロットル

シートハウジング右手に位置し、走行速度よりもエンジン回転数が必要な時にレバーを上げてください。

C. ヒューズ及びヒューズフォルダ

30 アンペアヒューズ使用

ステアリング

実際に走行している機体のステアリングを操作する前に、停止状態で操作してください。

シート調整

シート調整レバーは、シート前面左側にあります。快適な位置に調節してください。

フットペダル(モデル 7540)

右フットペダル

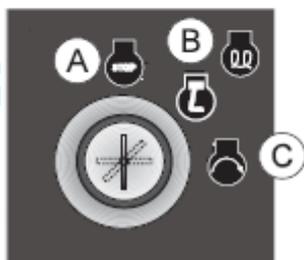
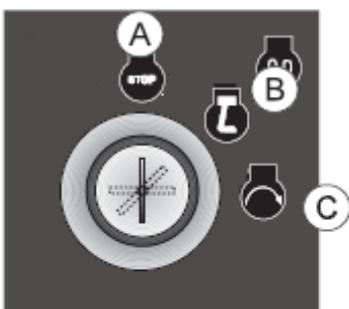
右に走行したい場合にこのペダルを踏みます。ペダルを解放するとローラーの走行速度は減速し、最終的に停止します。急停止する場合は、反対側の左ペダルを少し踏み込んでください。

左フットペダル

左に走行したい場合にこのペダルを踏みます。ペダルを解放するとローラーの走行速度は減速し、最終的に停止します。急停止する場合は、反対側の右ペダルを少し踏み込んでください。

オペレーション

機械の制御装置、機能を熟知してから本機を運転してください。また整備要件をすべて完了し、安全に関する警告を読んでください。機械全体およびその操作方法を知り、指示の整備要領を励行することで、長年にわたり比較的故障のない運転を確保できます。



1. 燃料タンクの燃料バルブが開いていることを確認します。
2. パーク・ブレーキをセットします。スタート・セーフティ・スイッチがパーク・ブレーキにあります。
3. イグニッション・スイッチはガソリンでは 3 位置、ディーゼルでは 4 位置のスイッチです。ガソリン・エンジンは、キー(A)を右(C)に回して始動し、始動したらキーを放します。キーは自動的に走行位置(B)に戻ります。必要に応じて、チョークとハンド・スロットルを使います。ディーゼル・エンジンは、キー(A)を左(D)に回し、グロー・プラグを予熱し、右(C)に回して始動します。キーを放すと、走行位置(B)に戻ります。
4. エンジンを数分間アイドリングし暖めてから、走行方向を選択します。
5. ガソリン機でエンジンを止めるには、キーを停止位置に入れます。ディーゼル・スーパーレキではスロットルを停止位置に入れ、キル・コントロール・ハンドルを引きます。

日常点検リスト

注意：点検・整備の際はメーカー指定の部品を使用し、手順に従ってください。

推奨チェックリストはメーカー推奨リストに変わるものではありません。保証等承認においては、メーカー設定のガイドラインにしたがっているかどうか判断基準となります。厳しい環境下(ホコリ、温度等)ではメンテナンス間隔は短くなります。注意してください。

1. エンジンオイル量を確認してください。必要に応じて補充し、決して補充しすぎないようにしてください。
2. 本機にダメージがないか、異常はないか確認してください。
3. 電気配線がしっかり接続されているか、バラけている線はないかバッテリーケーブルを含め確認してください。不良な装置は交換し、緩んでいる箇所は締め直してください。
4. ナット、ボルト、セットスクリューがなくなっていないか確認し、締め直すまたは交換する等必要な措置を取ってください。
5. 機械音を注意して聞き、緩んでる部分がないか、モーター音に異常はないか等異常がないか確認してください。

6. 油圧ホースを目視点検し、損傷、漏れはないか確認してください。オイル漏れ確認の際は決して指を使用しないで下さい。
7. ペダルのシャフト周辺等全てのグリスポイントに十分に給油されているか確認してください。
8. ステアリングを点検して下さい。
9. 全てのスイッチが通常通り作動するか確認してください。
10. 油圧オイルを確認してください。交換の際は規格 10W40 を使用してください。
11. 制御がスムーズに行えるか、適切に機械が作動するか確認し、必要に応じて給油、グリスアップしてください。
12. 本機底部、モーター周り等滞積不要物をきれいに洗い流してください。

メンテナンス



本機を整備、調整する際は、エンジンを停止させ、イグニッションよりキーを抜いてください。

NOTE:

メーカー推奨の部品を使用し、推奨の手順に従ってください。エンジンマニュアルを参照してください。

エンジンエアクリーナー

1. カバー上部の蝶ネジを外し、カバーを外してください。
2. キャブレター内にゴミが落ちないように、注意してエレメントを外してください。
平らの場所を優しく叩き、ホコリを落としてください。紙製のエレメントにはオイルをつけないように気をつけてください。また、汚れていたり、壊れている場合は直ぐに交換してください。

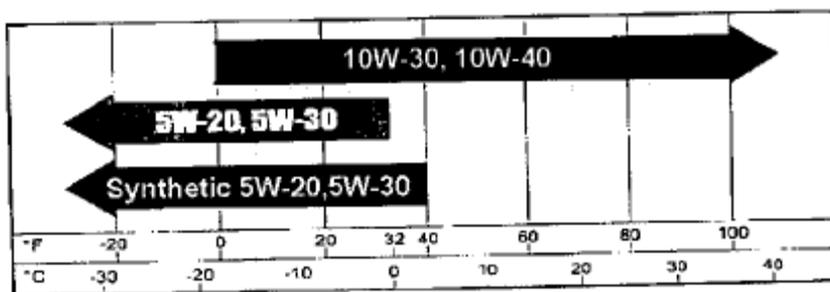
NOTE:

3. 新しいカートリッジをはめ、最後に蝶ネジを締めこんでください。

エンジン

以下チャート表に従いオイル補充、交換をおこなってください。

オイルは新しい混合物のないものを使用してください。



バッテリー

バッテリーは通常爆発性，かつ人体に有害なガスを発生します。バッテリーに裸火，火花，その他引火物を近づけないでください。バッテリーの充電またはバッテリー付近での作業時には，必ず目を保護し，十分な換気を行ってください。

バッテリー・ケーブルをはずしてから，「高速充電」を実施してください。

バッテリーは 15 アンペアで 10 分または 7 アンペアで 30 分充電してください。指定充電速度を越えないでください。電解液が沸騰し始めたら，充電を減少してください。

必ずアース(-)バッテリー・クランプを最初にはずし，最後に取り付けてください。以下の注意を守って危険を回避してください：

1. 換気の十分な場所でバッテリー液を注入する。
2. 目の保護具とゴム手袋を装用する。
3. 電解液を補充するとき，気化したガスを吸入しないよう注意する。
4. 電解液をこぼしたり，滴下させないように注意する。

！ 警告

バッテリー電解液は酸性溶液で取扱に注意が必要です。万一，液が体にはねたら，患部を即座に多量の水で洗浄してから直ちに医師の治療を受けてください。

ジャンプ・スタート

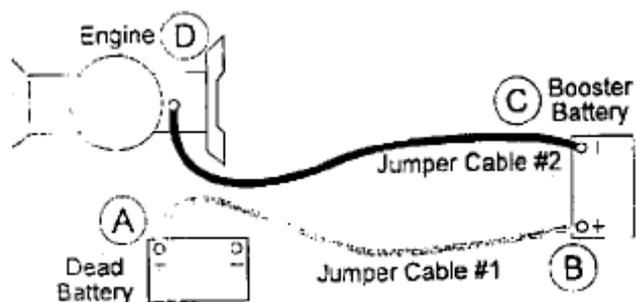
！ 警告

ブースター・バッテリーとジャンパー・ケーブルの使用 . ブースター・バッテリーを接続するとき特に注意が必要です . 正しい極性で接続してスパークの発生を防止してください .

ジャンプ・スタート(マイナス・アース・バッテリー) :

1. 目をシールドで保護します .
2. ケーブル 1 本の両端を各バッテリーのプラス(+)端末に接続します . 最初に(A) , 次いで(B)の順で接続 .
3. もう 1 本のケーブルの一端を「正常」バッテリー のマイナス(-)端末(C)に接続します .
4. このケーブルの他端を始動する機械のエンジン・ブロック(D)(バッテリーのマイナス(-)端末ではない)に接続します .

始動する機械の他の電気コンポーネントへの損傷を防止するため , エンジンがアイドル速度であることを確認してから , ジャンパー・ケーブルをはずします .



サービスチャート



本機を整備する前に、必ずエンジンを停止させ、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。タイヤには輪留めをかけてください。

NOTE:

メーカー指示の整備手順に従い、純正部品のみを使用してください。エンジンマニュアルを閲読してください。

	日常	必要に応じて	100時間ごと	200時間ごと	250時間ごと	300時間ごと	400時間ごと	500時間ごと/1年
*エンジンオイル	C		R	R		R	R	R
エンジンオイル漏れ、部品緩み	C		C	C		C	C	C
エアクリーナー(紙製エレメント)		C	C	C		C	C	R
**点火プラグ		R		C			C	R
アイドリング速度					C			C
ベルト	C				C			C
***タイヤプレッシャー	C		C	C		C	C	C
燃料量	C	C						
燃料フィルター		R						
バッテリー電解液量			C	C		C	C	C
ターミナル掃除					C			C
****トルクラグナット				C			C	C
潤滑			C	C		C	C	C

C= 点検・清掃、R=交換、****=初期 10 時間運転後、その後 200 時間ごとの締め込み (87-100Nm)、*初期 5 時間運転後にオイル、フィルター交換、**クリアランス 0.76mm、締め付けトルク 24-30Nm。運転条件が過酷な場合は、点検・整備間隔を縮めてください。

以上の整備・点検チャートはあくまでも推奨で、メーカー推奨を意味しません。

保証承認はメーカー推奨チェックリスト遵守が基本となります。

保管

本機を保管する場合は、部外者・未熟者が本機を勝手に動かさないように必ずキースイッチを抜いてください。

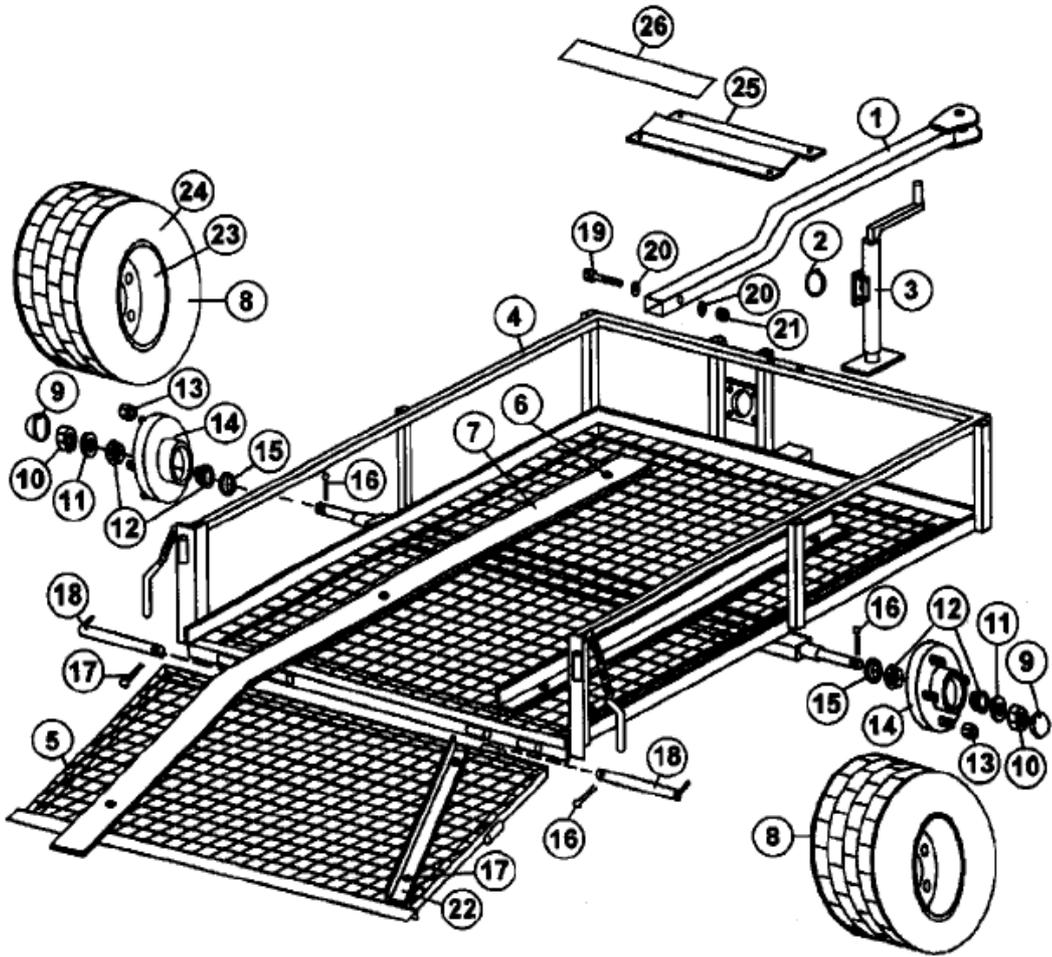
1. 保管する前に、必ず本機を完全に洗浄してください。
2. ボルト、ナットを確認し、必要に応じて締め直してください。
3. 修理が必要な箇所は必ず保管前に処置してください。不要物は除去してください。
4. バッテリーを取り外し、電解液量を確認し、充電しなおしてください。バッテリーは乾燥したくらい場所に保管してください。
5. 本機は、きれいで、乾燥した場所に保管してください。決して、ストーブ、ヒーター、火花を発する恐れのある装置の傍で使用しないで下さい。
6. 30 日以上本機を使用しない場合は、燃料を抜いてください。燃料の長期滞留は、燃料供給を詰まらせる恐れがあります。エンジンメーカーマニュアルを参照し、保管手続きに従ってください。



Owner's Manual

トーナメントローラー用トレーラー
モデル 7505

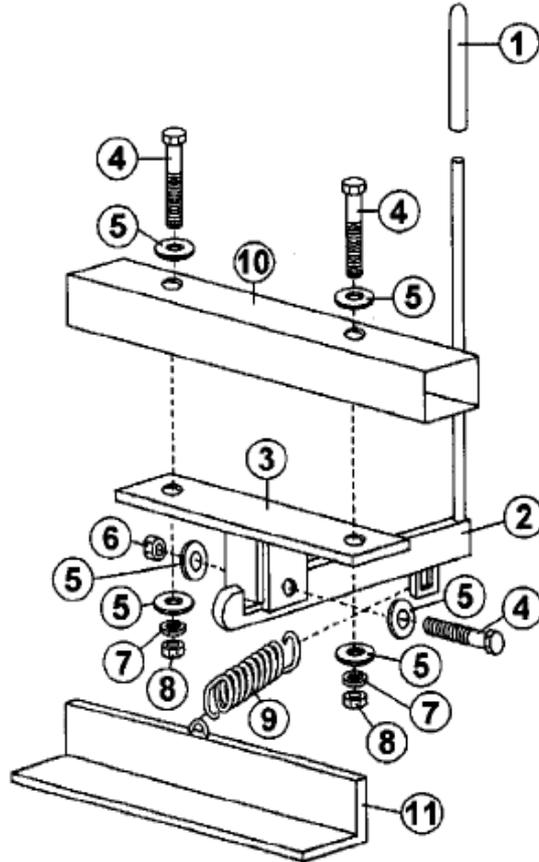
7505 TRAILER DRAWING



7505 TRAILER PARTS LIST

<u>REF#</u>	<u>PART#</u>	<u>DESCRIPTION</u>	<u>QTY.</u>
1	750-172	Bent Drawbar	1
2	709-164	Snap Ring	1
3	709-165	Jackstand	1
4	750-171	Bed	1
5	750-170	Tailgate	1
6	400-255	Elevator Bolt	6
7	750-164	Rubber Pad	2
8	2020-1	Tire & Wheel	2
9	2024	Grease Cap	2
10	709-126	Spindle Nut	2
11	2013	Spindle Washer	2
12	2028	Tapered Bearing	4
13	1187	Lug Nuts	8
14	2027-1	Hub Only	2
15	709-171	Seal	2
16	709-143	Cotter Pin	4
17	750-339	Bolt Bag for Guide Rails	1
18	750-173	Tailgate Pin	2
19	400-061	1/2" x - 13 x 3 1/2" HHCS	1
20	400-310	7/16" Flat Washer	2
21	400-112	1/2" Locknut	1
22	750-340	Guide Rails	4 (Set)
23	2026	Wheel	2
24	2020	Tire	2
25	750-406	Roller Stop	1
26	610-360	Rubber Matting 3" x 18"	2

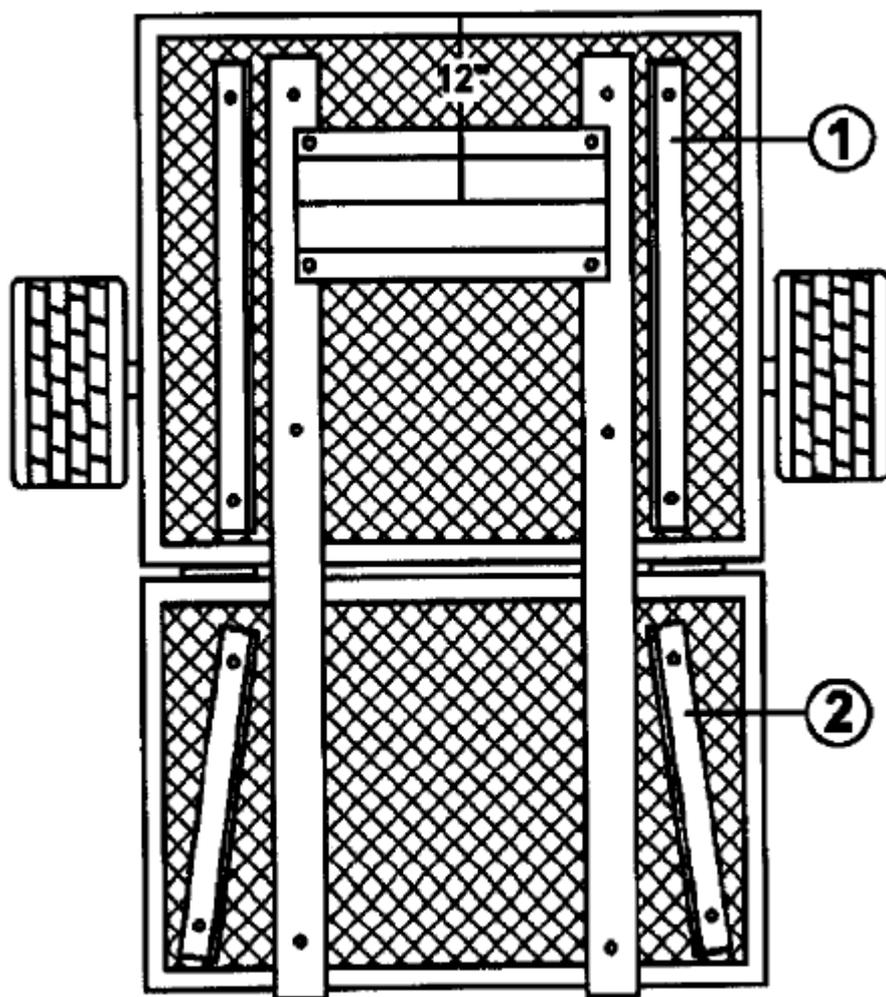
7505 LATCH ASSEMBLY DRAWING



7505 LATCH ASSEMBLY PARTS LIST

REF#	PART#	DESCRIPTION	QTY.
1	40-038	Grip	1
2	750-169	Latch	1
3	750-169-1	Latch Bracket	1
4	400-017	3/8" x 2" Bolt	3
5	400-202	5/16" Flat Washer	6
6	400-116	3/8" Locknut	1
7	400-209	3/8" Lock Washer	2
8	400-103	3/8" Nut	2
9	40-199	Spring	1
10	750-171	Frame Rail Trailer	
11	750-171	Frame Angle Trailer	

ガイドレール取付インストラクション



1. ローラーをトレーラーの上に乗せてください。
2. 1番のガイドレールを、ローラーとの間隔が2.5cm程度空くように取り付けてください。
3. トレーラーにガイドレールを取り付けてください。
4. ガイドレール2番は、図にあるように「八」の字型に取り付けてください。